

2年間の連載を終えて……
季節を度になから産みながら描いた2年間に感謝
 たきき きょうこ(絵本講師)

2年間、「絵本フォーラム」に絵を描かせていただきました。ありがとうございます。お話をいただいた時は、本当にうれしかったです。同時に、全国の愛読者の皆さまや、絵本講師の仲間に見ていただけると思うと、はずかしくない絵を描かなくては、身がひきしまる思いでした。絵は、季節を感じられる、楽しいものになるように心がけてました。最初は、白と黒だけで描くのがむずかしかったのですが、途中から、白と黒だけでなく色も感じられるようにしようと思うようになり、楽しく描くことができました。おかげさまで、12枚も絵がそろいましたので、これからどこかで展示会などでできたらいいな、と思っております。「絵本フォーラム」は、絵本や子育てのお話がいっぱい、わたしも毎回楽しみにして、時には寝たりしながら読ませていただいています。これからも、2ヶ月にいちど描くのを楽しみにしております。(たきき きょうこ)



土居安子の
おすすめ絵本
 (大阪国際児童文学賞顧問 読書専門員) (どい・やすこ)

● **くろいの** 田中清代/作 橋本由香子
 女の子が一人で家に残っていると、他の人には見えない「くろいの」を見つけて、女の子の背丈の半分ぐらいで、黒い大きな「くろいの」は、女の子を走らせない、静かな家に入ると、カラッポの押入れから黒い服へと変身する。女の子と「くろいの」はそこで、かくれんぼやブランコなどの遊びに夢中になり、乗りにつきます。エッチングの絵によって、女の子の想像世界が魅力的かつあたたかく描かれています。(税込価格 1612円)

● **せん** スージー・リー/作 岩波書店
 表紙をめくると、白い紙の上に鉛筆と消しゴムがあり、1ページ目からは女の子がスケートをする軌跡が鉛筆の線で描かれていきます。回転したり、ジャンプしたり、女の子は自由自在な線を信じて、転んでしまっても、それが描かれていた軌道もくしゃくしゃに丸められてしまっても、丸めた軌道が広がると、女の子の友だちが来て、スケートで乗りつづかれた画面に白い線でスケートの軌跡を描きます。美しい「せん」の絵本です。(税込価格 1944円)

● **石はなにからできている?** 西村博雄/文 武田智一/写真 岩波書店
 月の石の写真から始まる本書は、「キラキラしたつぶつぶが見える。白っぽい石」「つぶつぶはあるが、キラキラしない石」など、誰かがわかる表現で、身近な石が紹介され、その成り立ちが説明されています。そして、海辺の石に続き、宇宙から見た地球の写真で終わります。写真が魅力的で、石を通して私たちが生きていく地球の長い時間を想像することができる科学絵本。巻末には、花崗岩などの名称や分類などの説明も書かれています。(税込価格 1728円)

娘が1歳4ヶ月のとき、青年期に非行に走り、自らの手で命を絶つてしまった。己が父的に他者被害をする精神科医・佐々木正徳先生の養育院で暮らす娘の物語。お話を聞きながら、自分自身を振り返る。そうすれば、赤い糸が、いつかまたつながる。そして、娘の未来が、自分自身の手で描ける。そして、娘の未来が、自分自身の手で描ける。そして、娘の未来が、自分自身の手で描ける。

わたしの子育て「根拠のない自信」をもった「普通の子供」として
 其の四 **ダウン症をもつ娘のことばかり**
 多本 ゆき枝(絵本講師)

3歳、娘が2歳になったとき、娘は1年後の就学に向けて、半年前から準備を始めていました。その時に、娘の発達を心配して、発達検査を受けたことがありました。その結果、娘はダウン症と診断されました。そのとき、娘は2歳で、言葉がほとんどなかった。でも、娘は「ママ」と「パパ」という言葉を覚えていました。娘は、ママの顔をみて、笑顔で手をのびました。娘は、ママの手を握って、歩きたいとお願いしました。娘は、ママの手を握って、歩きたいとお願いしました。娘は、ママの手を握って、歩きたいとお願いしました。

『なつめやしのおむこさん』
 原作: 市川川美 絵: 水谷あさひ
 『なつめやしのおむこさん』は、市川川美の同名小説を基にした絵本です。主人公は、なつめやしという不思議な生き物です。なつめやしは、おむこさんというおじいさんと暮らしています。おむこさんは、なつめやしを育てて、おむこさんというおじいさんと暮らしています。おむこさんは、なつめやしを育てて、おむこさんというおじいさんと暮らしています。

— 今も昔も変わらない、大切なココロを再確認できる一冊 —
森ゆり子講演録 改訂版
絵本を読んであげましょう
 絵本の内容は覚えていなくても、読んでもらったことだけで、心に残ります。絵本は、子どもにとって、大切な宝物です。絵本を読んであげましょう。絵本は、子どもにとって、大切な宝物です。絵本を読んであげましょう。絵本は、子どもにとって、大切な宝物です。絵本を読んであげましょう。

絵本で子育て講座003
 税込価格 1234円

「絵本で子育て」センター
 〒100-0001 東京都千代田区千代田2-21-405
 TEL: 03-5561-7516 FAX: 03-5561-7520

ジェリーの
日本見聞録
 ERIC MARTIN'S
 JAPANESE MEMOIRS

わたしの炎
 昔の人間にとって、火は命の源であり、火がなければ生きていくことができません。火は、人間にとって、命の源であり、火がなければ生きていくことができません。火は、人間にとって、命の源であり、火がなければ生きていくことができません。

第15期「絵本講師・養成講座」報告
 2018.12.16
「養成講座」の学び佳境に
 報告・加藤 美帆

「わたしの炎」の読み聞かせが、子どもたちにとって、とても大切な時間です。火は、人間にとって、命の源であり、火がなければ生きていくことができません。火は、人間にとって、命の源であり、火がなければ生きていくことができません。火は、人間にとって、命の源であり、火がなければ生きていくことができません。

『なつめやしのおむこさん』
 原作: 市川川美 絵: 水谷あさひ
 『なつめやしのおむこさん』は、市川川美の同名小説を基にした絵本です。主人公は、なつめやしという不思議な生き物です。なつめやしは、おむこさんというおじいさんと暮らしています。おむこさんは、なつめやしを育てて、おむこさんというおじいさんと暮らしています。

遠い世界への窓 XI
 前田 君江
 遠くの世界へ、窓を開くと、そこには、美しい風景が広がっています。窓を開くと、そこには、美しい風景が広がっています。窓を開くと、そこには、美しい風景が広がっています。窓を開くと、そこには、美しい風景が広がっています。

季節とともに生きよう 絵本とともに生きよう 子どもたちに思いを届けよう
絵本講師の本棚から
 本棚って、自分自身では何もできない
 本棚って、自分自身では何もできない。本棚って、自分自身では何もできない。本棚って、自分自身では何もできない。本棚って、自分自身では何もできない。

「絵本で子育て」センター
 〒100-0001 東京都千代田区千代田2-21-405
 TEL: 03-5561-7516 FAX: 03-5561-7520